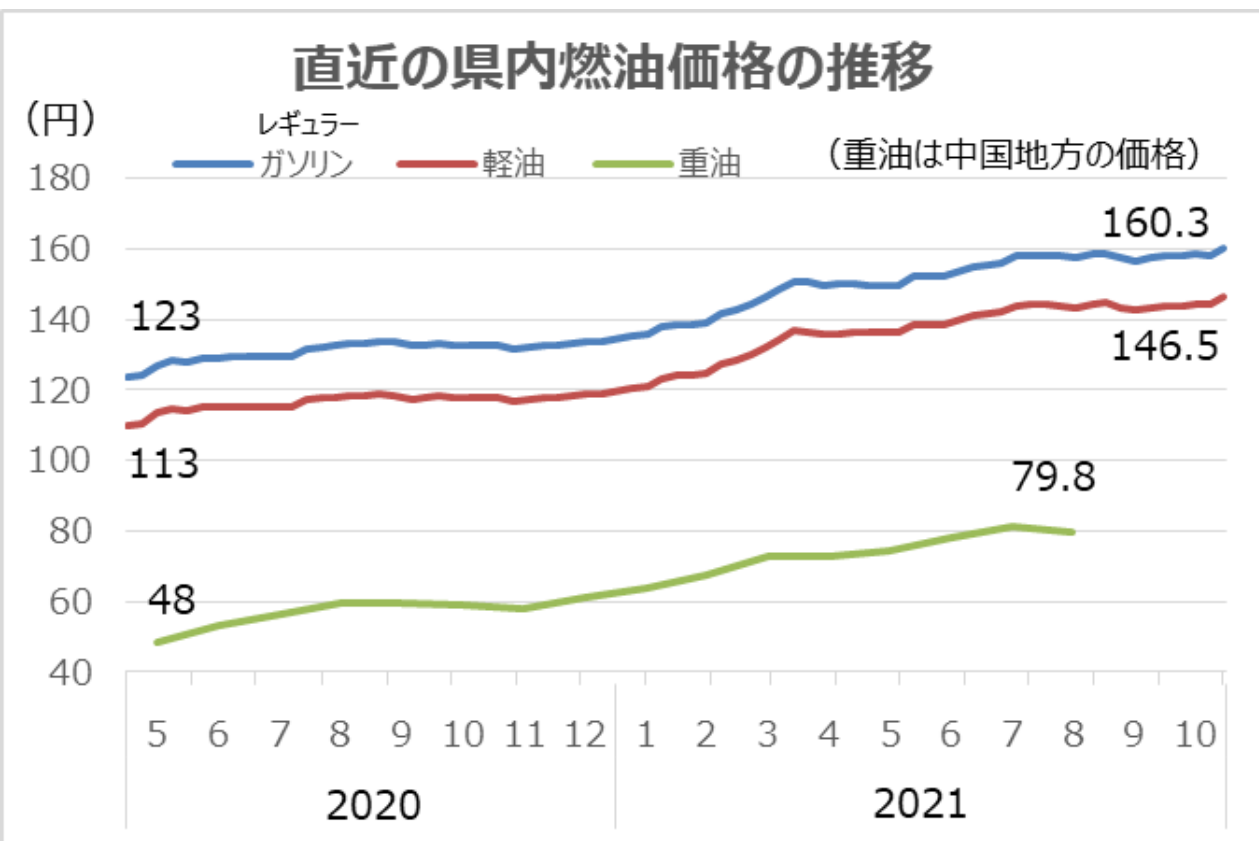


原油高騰対策緊急融資の発動



地域経済変動対策資金(燃油高騰対策枠)

[対象]

燃油の高騰に伴い経営の安定に深刻な影響が生じている中小企業者等

- ✓ 資金使途 運転・設備・借換
- ✓ 融資上限額 2億8千万円
- ✓ 融資利率 年1.43%
- ✓ 保証料率 0.23~0.68%
- ✓ 融資期間 10年(据置3年)
- ✓ 指定期間 令和3年10月25日~令和4年3月31日

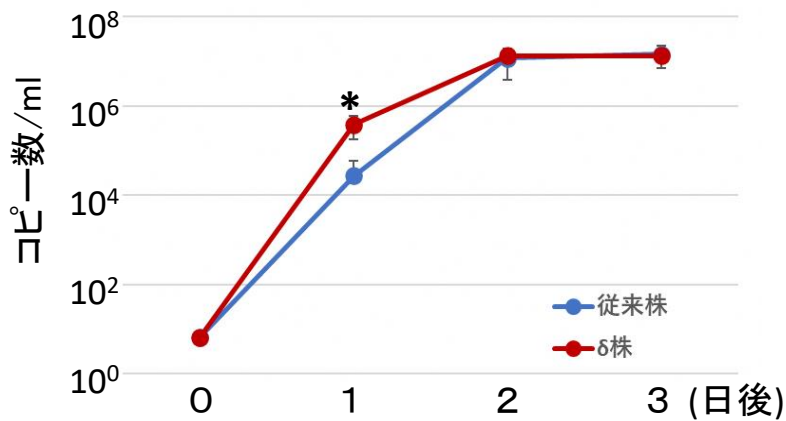
デルタ株の感染力の強さ

鳥取大学医学部 景山誠二教授に委託した新型コロナウイルスに関する解析(中間報告)

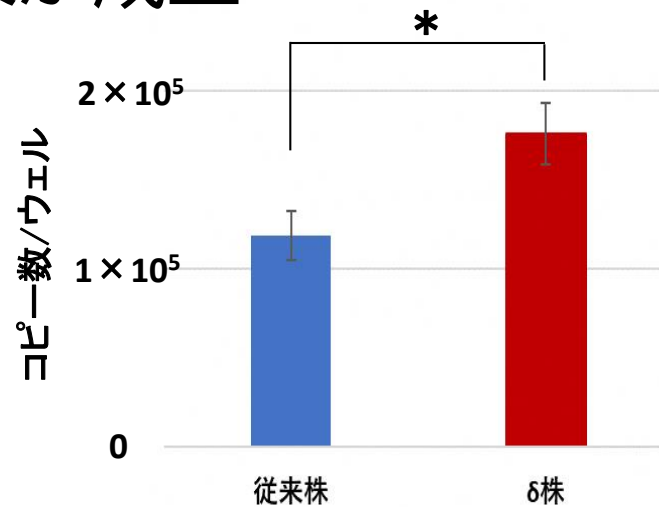
※7月20日から9月13日に陽性となった5件のデルタ株を、アルファ株を含むそれ以前の株と比較

◎デルタ株の感染力の強さを裏付ける結果が明らかに

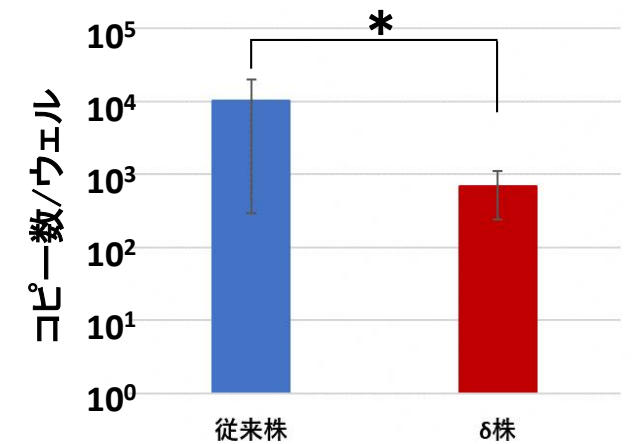
- ✓ 従来株より速く増える
- ✓ 細胞にくっつきやすい
- ✓ 少量のウイルスでも感染が成立



増殖速度の比較



細胞へのくっつきやすさの比較



細胞への感染可能濃度の比較

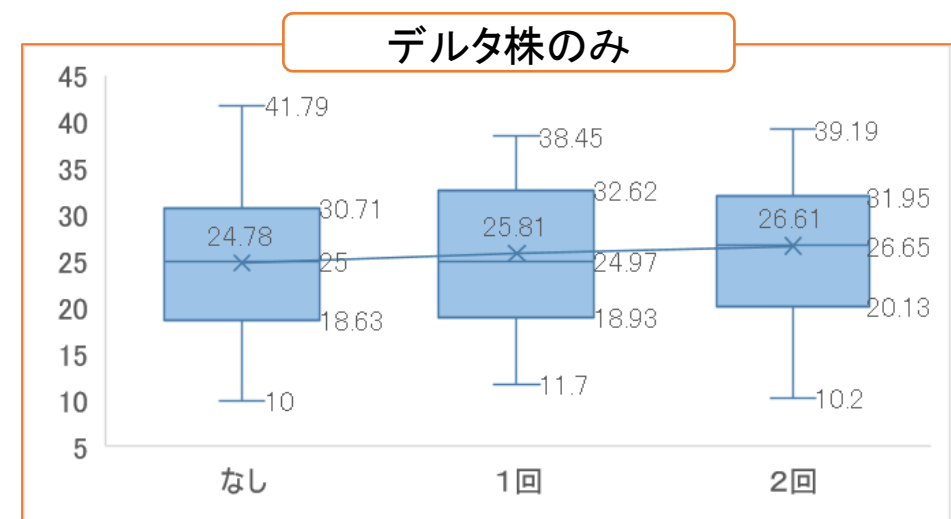
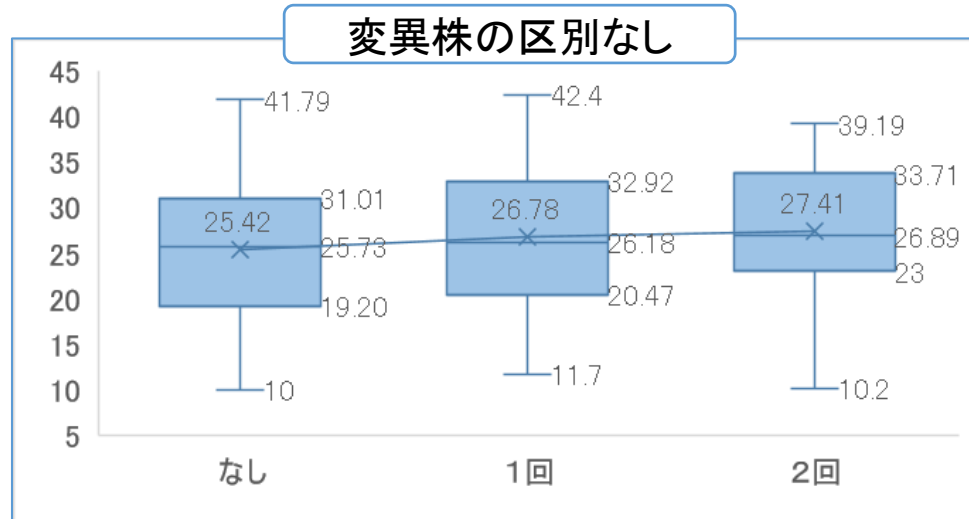
第5波における新型コロナ陽性者のワクチン接種状況

- 新規陽性者のうち**約9割が2回接種されていない方**
ブレークスルー感染も確認されているが、**重症化された方は1名**
- ウイルス量もワクチン接種者と未接種者での差はあまりなく、**ワクチン接種者であっても二次感染を引き起こす可能性**
- 10月に入ってからは、ワクチン2回接種者の感染確認も増えており**、そのうち検査時に無症状の方が約4割

<新規陽性者のワクチン接種状況(6月29日～9月30日公表分)>

陽性者数	未接種	1回接種	2回接種	接種対象外 (12歳未満)	不明
1,171	719	164	77	143	68
<割合>	61.4%	14.0%	6.6%	12.2%	5.8%

<陽性者のワクチン接種回数とCT値>



※県設置保健所管内の患者情報のうち、ワクチン接種回数及びCT値が判明した患者情報を使用。ワクチン接種後の経過日数は考慮していない。

高齢の方も若い方も、ぜひワクチン接種の検討を！

第5波新規陽性者の約9割が2回目未接種です。
接種されていない方は、ぜひ早めの検討を！

接種機会の創出

※開催日は1回目接種対応可能日

<追加日程の設定・予約なし接種枠の拡大>

- ▼ 県営ワクチン接種センター(新日本海新聞社ビル) 10/23、30、11/6、7
- ▼ 県庁職域(西部会場)(県西部総合事務所) 10/23、24

予約なし接種枠
600人分拡大

<圏域内共同受入体制の構築>

- ▼ 西部町村会(圏域内9か所(日野病院、日南病院、大山口診療所、江尾診療所等)の連携医療機関の中から、都合の良い日に自由に選択することが可能(圏域内住民))



県と市町村で協力して、未接種者の方への呼びかけを強化

・中高生向け個別DMの送付、未接種者全員への勧奨文書送付、防災無線・告知放送での呼びかけ、未接種者への電話連絡等、各市町村で工夫を凝らして接種を推進

・モデルナ製ワクチンを接種した10、20代男性に希望を伺い、ファイザー製接種等への切替実施中(10/15～)

今後の感染再拡大に備えた医療提供体制整備

【国の方針(「今後の感染拡大に備えた対策強化のポイント」10/15政府対策本部決定より)】

- ・ワクチン接種の進行により**感染者は約5割減**
- ・今夏の**2倍程度の感染力**にも対応



都道府県に
入院患者受入の2割増強を要請

【第6波に備えた対策強化】

医師会、看護協会、薬剤師会と連携し、医療提供体制をレベルアップ

病床確保	<ul style="list-style-type: none">・コロナ対応病床のさらなる確保・病病連携による効率的な運用の促進(コロナ回復患者受入を含む)・宿泊療養施設の一部を「臨時の医療施設」として運用
宿泊・在宅療養	<ul style="list-style-type: none">・オンライン診療に加え、対面診療・対面ケアの体制整備・協力医師・看護師のさらなる確保
その他	<ul style="list-style-type: none">・患者急増時におけるメディカルチェックセンターの追加開設・後遺症に対する相談窓口及び専門外来の整備

鳥取方式あんしん投薬システム

医師会・看護協会・薬剤師会と連携し、医療用医薬品の処方を開始



宿泊療養者



在宅療養者

↑
毎日の健康サポート
(医療介入の判断)

↑
① オンライン診療

↑
③ 調剤、
服薬指導(電話)

協力看護師



情報共有

協力医師



② 処方箋発行

協力薬局



情報共有

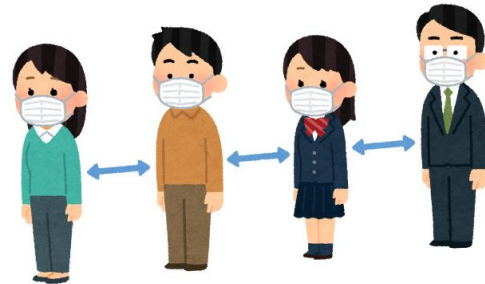
ご自身と大切な人を守るために 感染対策の6つのポイント

国内での感染は止まっていません。
感染力の強いケースも散見され、完全に安心できない状況です。
ワクチン接種後の感染も続いています。
引き続き、感染対策の徹底をお願いします。

①マスク着用・手洗い・
寒くても換気の徹底



②屋外でも、人と人との
距離を十分にとる



③体調が悪ければ無理な
登校・出勤はやめましょう



④会食時は大皿・箸の共用
は避け、会話時はマスク



⑤マスクをしても
大声を出して騒がない



⑥帰省時など県外との
往来の際は特に注意



盛土・急傾斜地の緊急対策

■ 盛土・急傾斜地の緊急点検 → 緊急対策実施

- ・不適切な盛土はなかったが、水路等が浸食されているものなど対策が必要な箇所を19箇所確認

点検対象	点検箇所数	対策必要箇所数	対策完了箇所数	今後対策箇所数
盛土	188(34)	19(6)	6(6)	13(0)
急傾斜地	100	0	0	0

※()県管理数

- ・県管理の6箇所については、盛土・急傾斜地緊急対策事業等を活用して対策完了
- ・今後対策が必要な13箇所については、対策工事に着手するまでの間、定期的に巡視し、安全を確認

■ 盛土等の斜面安全確保条例案の検討状況

- パブリックコメント（10/22まで）の意見

「保証金の預託が困難な場合の配慮を」

→分割による預託で事業者の負担軽減

「田を埋めての宅地造成で平坦地になる場合まで規制するのはいかがか」

→周囲に対し1m以上の高低差がないものは規制対象外

- 次回検討委員会（11月2日）で条例案とりまとめ

< 対応状況の例 >

にしたになぎ 西谷那岐停車場線（智頭町西谷）
にしたに 水路基礎部の浸食



水路基礎部の浸食

対策後



2021.9.27-14

ヤングケアラーの実態調査（令和3年7月調査）

■ ヤングケアラーに当てはまると回答した者

小学5年生	1.8%
中学2年生	2.0% <国調査 5.7%>
高校2年生	3.2% <国調査 4.1%>
青年	5.1%

⇒ 小学生にもケアラーが存在することが判明

■ ヤングケアラーに該当するか分からないと回答した者

小学5年生	44.5%
中学2年生	31.0%
高校2年生	24.9%
青年	13.1%

⇒ 当該調査後の令和3年9月に、県内全ての中学生・高校生へヤングケアラーの例や相談窓口を周知するリーフレットを配布

■ ヤングケアラーが希望するサポート

■ 小学5年生

- ・信頼して見守ってくれる大人がいること(42.9%)

■ 中学2年生

- ・困ったときに相談できる人(場所)があること(37.5%)
- ・学校で宿題や勉強をサポートしてくれること(37.5%)
- ・自由な時間が増えるようサポートしてくれること(37.5%)

■ 高校2年生

- ・困ったときに相談できる人(場所)があること(30.8%)

■ 青年

- ・ケアラーに役立つ情報の提供(38.9%)
- ・親や家族がなくなった後の被介護者のケアと生活の継続(27.8%)

【ケアラーの悩み(青年層のみ回答)】

- ・将来の見通しが持てない(45.0%)
- ・経済的な問題(40.0%)
- ・家族関係(35.0%)

■ ヤングケアラー対策会議(11月中)

調査結果をもとに今後の対応を検討

- ・小学生に対する啓発の方法
- ・ヤングケアラーを孤立させない取組みやサポート体制

※「令和3年度鳥取県青少年育成意識調査」（令和3年7月）

調査対象：小2、小5、中2、高2、その保護者、青年（19～29歳）の中から無作為抽出

回収率：70.0%（3,673人／5,249人） ※児童生徒のみでみる回収率は95.2%